

# 道徳学習指導案

対象 第2学年

1 主題名 生きがいを求めて 1-(4)

2 資料名 「悲願のりんご」(「あすを生きる2」日本文教出版)  
「夢や理想をもって生きる」(「心みつめて」東京都教育委員会)

## 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

中学時代は自我が芽生え徐々に自分の興味・関心のあるものに対してもこだわりが強くなる時期である。また、自分の進路を考えて哲学的とまでは行かないまでも「いかに生きるべきか」という難しいことを考え始める時期とも重なってくる。夢を語り合い、互いに目標に向かって前に進む勇気や意欲を尊重する態度を身に付けることの大切さ、また、人間形成の重要な中学時代において夢や目標をもち前に向かって進むことの大切さを感じ取らせたい。自己の信念を形成していく契機として意欲的に生きる姿勢を培うために、本主題を位置づけた。

(2) 生徒の実態について

中学校生活も後半に入り、生徒会活動をはじめ、部活動や行事など2年生を中心とした学校生活がはじまった。生徒の中には、自分の立場を自覚し積極的に自分を高めたり学校に貢献したりしようとする姿が見られる生徒が現れ始めた。一方で自分自身のことについて考えることができず、その場限りの楽しさを求めてただなんとなく生活している生徒もいる。本時を通して、自分自身の理想や生きがいを見つけ、それに向かって努力することの大切さを理解し、今後の生活に生かす前向きな生徒の心を育みたい。

(3) 資料について

国内で生産されるりんごの約5割を占める品種である「ふじ」の品種改良に努めた斉藤昌美を題材にした資料である。数々の品評会で1位をとり「りんごの鬼」と呼ばれた斉藤昌美。その彼のところに、ふじの育成を依頼された。新品種の開発を急がねば、産地を危機が襲うと感じていた彼は、自分の仕事に信念をもち地道な観察・研究を続け、故郷を救うりんごを作り上げた。そして、自分の農園で11年かけて作り上げたふじの枝を無償で分け与え、また自分が考案した接ぎ木の技術を惜しげもなく公開し、他の果物に負けないりんごを青森県に広めた人物である。彼の言う人間らしい生き方について考えさせ、生徒自身が自己の将来を切り拓こうとする心情を育てたい。

## 4 本時の学習

(1) ねらい

自分の理想を追い求める生き方に学び、人間らしく生きる道について考え、自己の人生を切り拓こうとする心情を育てる。

(2) 指導過程

分	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	<p>1 りんごを見て考える。</p> <p>○「このりんごの品種はなんでしょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじ。</li> <li>・ジョナゴールド。</li> <li>・トキ。</li> </ul>	<p>○青森県産のふじであるということを伝え、資料への導入を図る。</p>
展開	<p>2 資料「悲願のりんご」を読み、次のことについて考え、語り合う。</p> <p>&lt; 斉藤昌美さんと時代背景を簡単にまとめる。 &gt;</p> <p>発問①「11年かけて育てたふじの枝を無償で渡したのは、斉藤昌美さんのどんな思いからか。また、斉藤さんの行動をどう思うか。」</p> <p>発問②・中心発問「斉藤昌美さんの言う『人間らしく生きる道』にはどんな思いや願いが込められているのだろうか。」</p> <p>&lt;語り合い&gt;</p> <p>①ワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>②座席を移動し、司会カードを用いて小グループで語り合う。</p> <p>③座席を戻す。</p> <p>④小グループで出た意見や考えを学級で発表する。</p> <p>⑤再びワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>3 資料「夢や理想をもって生きる（「心みつめて」p126）」を読み自分自身の夢や理想を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新品種のふじを広めたい。</li> <li>・青森の危機を救いたい。</li> <li>・それしか考えていなかった。</li> <li>・弱体の身である自分に与えられた命を、りんごの研究に全てを捧げるという思い。</li> <li>・自分のことだけでなく青森全体のことを考えて、役に立ちたいという願い。</li> <li>・「うまい」と感じたふじを広めるという夢に向かって命をかけようという思い。</li> <li>・青森の危機を救えるのは自分しかないという使命感。</li> </ul>	<p>●資料を朗読する。(T1)</p> <p>○青森県産のふじであるということを伝え、資料への導入を図る。</p> <p>●挙手、指名により発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する。(T2)</p> <p>○生徒の発言に対し、「どうして?」と切り返し、ふじを広めるという夢を支えている思いについて考えさせる。</p> <p>○斉藤さんの行動について問い、生徒自身の考えを語らせる。</p> <p>●ワークシートを配布する(T1)</p> <p>●発問を板書する。(T2)</p> <p>○自分のやりたいことだけをただやっているだけでなく、「人間らしく生きる」という言葉に注目させ、人間らしい生き方について深く考えさせる。</p> <p>○小グループをまわりながら、語り合いの内容を聞き、教師からも疑問や意見を投げかけ語り合いを深める。</p> <p>●挙手、指名により発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する。(T2)</p> <p>●資料を朗読する。(T1)</p> <p>○自分自身の夢や理想を振り返らせ、前向きに努力していきたいという心情を育みたい。</p>
終末	<p>4 今日の授業で感じたこと、考えたことを書き、発表する。(ワークシート)</p>		<p>●ワークシートに記入させる。(T1)</p> <p>●感じたこと、考えたことを聞く。(T1)</p> <p>○自分自身を振り返り、夢や理想の実現についてどう考えるかを深める。</p> <p>●ワークシートを回収する。(T1)</p>

(3) 評価の観点

- ・「人間らしく生きる道」について考え、自分自身と照らすことができたか。
- ・夢や理想の実現に向かって努力しようとする心情が見られたか。

5 板書計画

